



埼玉県立春日部工業高等学校

第1学年 学年だよ

令和2年3月24日

誠実
責任
創造

早いもので、第1学年が終了となりました。皆さんは、この1年間を「長い」と感じたでしょうか、「短い」と感じたでしょうか。時間の感覚は人それぞれですが、一説によると、時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する（フランスの哲学者ポール・ジャネー）とされています。

ということは●16歳の皆さんは、 $1 \div 16 \text{歳} \times 365 \text{日} = 22.8$ で1年を23日程度と感じる

●高校3年間だと、1年次に感じた1年間が2年次には半分、3年次は1/3に感じる

単純計算だけで計れませんが、おそらく、多くの人が「早かった・短かった」と感じることでしょう。

では、そんな「早く・短い」1年間を、皆さんはどのように過ごし、どのくらい成長できたのか。

家庭生活、学校生活（あいさつ、身だしなみ、ルールとマナー、遅刻・欠席、スマホの取り扱い等）、学習面（授業、テスト、課題）など、これらの取り組み状況はどうだったのか。

自律を目指して努力し急成長した者、甘えから脱することができず、多くの注意や指摘を受けた者、おもて向きにはきちんと見せているけども、裏では（内面では）全く変わっていない者・・・等々。

~~~~~

ところで、この1ヶ月ほど新型コロナウイルスの関係で社会全体が混乱していて、学校も登校を制限する等大きく影響を受けていますが、皆さんにとってはそれだけでは済まなくなるかもしれません。

皆さんが就職活動をするのは一年後。オリンピックは終わりますが、大阪万博もあり、景気の低迷は少し先延ばしになる見込みでした。

しかし、今回の新型コロナウイルスの影響で、内定取り消し・リストラ・倒産等、一部の会社にとっては大打撃になっています。この状況が続いてしまうと一年後の進路活動に影響することは避けられません。

本校では、ここ数年の求人件数が2000を超えており、売り手市場と言われてきましたが、景気が悪化し続けると、一人が選べる会社が減るだけでなく、校内選考を厳密に行うことが必要になります。

要は、自分の希望する進路を勝ち取るためには、学習成績はもちろん、生活面や行動面、部活動等、2学年での取り組み全てが非常に重要になってくるということです。

~~~~~

このような状況を考えると、2学年という大切な時期を少しも無駄にはできません。春休みで、一息つきたいところかもしれませんが、早々に、次の準備をしなければなりません。

2学年を充実した一年間にするためにも、学年だよ（入学号）【有意義な学校生活を送るために】や裏面の【在り方生き方教育】で学んだことを振り返り、2学年での取り組み方をしっかり考えて下さい。

過去7回の学年だよは、「学校HP_学年だよ」に掲載しています。

***** 長期休業中の生活について *****

- ①規則正しい生活を送る：ゲーム等に熱中し不規則な生活にならないように十分注意する。
- ②学習習慣の維持：計画的に課題に取り組み、学習習慣を維持してください
 - ・全生徒に、基礎学力診断テストの予習として One Week トライアルが配布されています。
 - ・第二種電気工事士補講の受講者には、朝補習の代替として課題が配布されています。
 - ・電気科の生徒には、関東電気保安協会主催の作文コンクールの課題が配布されています。
- ③頭髪服装等：★★異形・染色、ピアスは絶対にあけない★★再検査者“ゼロ”!!!!

4月の主な行事

8日(水)	始業式	頭髪検査	15日(水)	開校記念日
10日(金)	基礎学力診断テスト		23日(木)	体力テスト・身体測定
14日(火)～	各種検診等・・・	5月中旬まで	24日(金)	離任式

社会状況の変化に伴い、暴力行為や自殺・ネットいじめや規範意識の低下等、社会問題も様々な形で起こっています。

これら諸問題の根本的な解決に向けて道徳教育を行い、生徒の自律、生命の尊重、正義感や公正さ等、豊かな人間性や社会性を高め、生きていく上で大切なことを考える機会を設けました。

① 「習慣が人を作る」・・・望ましい生活習慣

自己実現のために、自分を高める「習慣」の大切さを理解する

イチロー選手のエピソードを題材に、同じことを続けることにどのような効果や意味があるのか考えました。日々のルーティーンは、毎日の生活を大切にすることによって習慣化されたもので、習慣とは、自分が自分らしく生きる上で重要なものである、ということでした。

「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」・・・『ウィリアム・ジェイムズ (心理学者、哲学者)』
心掛け次第で運命が変わる。積極的に良い習慣を身につけ、自分の運命を作り上げていきましょう。

② 「信じ続ければ、夢は必ずかなう」・・・目標の実現

困難に屈することなく粘り強く努力する強い意志と態度を育てる

ある高校の野球部員が、部の目標を理解し努力を重ねレギュラーを手にするという話が題材でした。当たり前ですが、ただ信じているだけではなく【努力】を続けなければ、夢は叶いません。自分自身の目標を持つことはもちろん、今いる環境(場所・所属)の目標を理解し、実現に向かって努力を続け、未来を切り開いていくことが大切です。

今まで、生きるすべは沢山ありましたが、今後の社会情勢は全く不透明なものになってしまいました。自分が生きていく道を作るため、小さなことからコツコツ努力し続ける意志を持って欲しいと思います。

③ 「ゴミを拾うことで得られるもの」・・・公德心、社会連帯

自他への配慮と思いやりを大切に、進んで社会と関わり、積極的な生き方をする態度を育てる。

新宿駅前、周囲の冷やかな目に心が折れそうになりながらもゴミ拾いを続け、最終的には周囲の人の心を動かす力になったという話が題材でした。

『情けは人の為ならず』ということわざがあります。人は一人では生きて行けません。最終的に社会に支えられて生きていくこととなります。公共交通機関でのスマホの使い方に気を付ける、近くにゴミが落ちていたら拾うなど、社会の一員として、ルールやマナーを守ること、他人に迷惑をかけないように行動することで、最終的には自分自身が過ごしやすくなるのではないのでしょうか。

④ 「開拓者 荻野吟子」・・・人間の弱さや克服する強さの自覚、誇りある生き方

自分の役割や存在意義を見出し、前向きに生きる強い意志を育てる

埼玉の偉人で日本初の公認女性医師である「荻野吟子」の晩年の生き方で、現在に安住することなく、新たな事柄に挑戦し、挫折や失意の中でも自分の存在意義を見出し、前向きに生きようとするこのすばらしさを感じるというものでした。

どのような状況の中でも、自分らしく誇りある生き方を考えられるようになってほしいと思います。

道徳教育の答えは一つではありません。しかし、こういった考え方を持つことで人間が豊かになっていくことは間違いないと思います。